



2026 年 8 月 31 日

各 位

会社名 株式会社イオレ
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 瀧野 諭吾
(コード：2334、東証グロース)
問合わせ先 執行役員 CFO 貞方 渉
(TEL. 050-5799-9400)

**(開示事項の変更) JAIC データダイナミクス株式会社が発行する
A 種優先株式の引受けに関するお知らせ**

当社は、本日付の取締役会において、2026 年 4 月 16 日付「JAIC データダイナミクス株式会社が発行する社債の引受けに関するお知らせ」にてお知らせいたしました JAIC データダイナミクス株式会社（以下「JAIC-DD 社」）が発行する社債の引受けについて、引受契約の締結に至らず、払込みも実行していないことを踏まえ、当該社債の引受けは実行せず、JAIC-DD 社が発行する A 種優先株式を引き受けることを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 出資の目的等

当社は、2025 年 10 月 8 日付「JAIC データダイナミクスと分散型 AI データセンター事業を福島県双葉町で始動」にて開示のとおり、JAIC-DD 社と連携し、分散型 AI データセンター東北リージョン福島双葉町 DC（以下「本 DC 事業」）の事業設計・運用戦略を包括的に支援してまいりました。

当社は、2026 年 4 月 16 日付「JAIC データダイナミクス株式会社が発行する社債の引受けに関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、本 DC 事業に対する資金面での参画として、JAIC-DD 社が発行する社債を引き受けることを決議しておりました。当該社債は、本 DC 事業に対するブリッジファイナンスとしての性質を有するものとしておりました。

その後、JAIC-DD 社との間で当該社債の引受契約の締結には至らず、払込みも実行しておりません。その理由として、当社は、本 DC 事業に対する資金面での参画として、JAIC-DD 社が発行する社債の引受けをブリッジファイナンスと位置付け、当該社債の償還後に同額を同社への出資に充当することを想定しておりました。その後、JAIC-DD 社における資金需要の発生時期が当初想定より後ろ倒しとなったことに伴い、償還までの短期間の資金供与というブリッジファイナンスとしての位置付けの前提が変化したため、当社と JAIC-DD 社との間で社債の引受契約の締結には至りませんでした。

かかる一連の経緯を勘案し、今般、JAIC-DD 社が発行する A 種優先株式を直接引き受け、資本金性資金として本 DC 事業に継続的に参画することといたしました。これに伴い、当該社債の引受けは実行いたしません。

当社は 2026 年 4 月 16 日付開示のとおり、当初、本 DC 事業に対する資金面での参画について、社債の引受け(ブリッジファイナンス)を経て、その償還後に同額を出資に充当することを想定しており、出資による資本金面での参画は、当初計画の段階から予定していた最終的な関与形態です。その後、前述のとおり、JAIC-DD 社との間で当該社債の引受契約の締結には至らなかったことから、当社は、当初予定

していた社債(ブリッジファイナンス)の段階を経ることなく、当初から予定していた出資の形態により、直接本 DC 事業への資本面での参画を行うことといたしました。

また、普通株式ではなく A 種優先株式とした理由は、A 種優先株式が、JAIC-DD 社の株主総会における議決権を有しない一方、残余財産の分配については普通株主に先立ち払込金額相当額の分配を受ける権利を有する設計となっているためです。これにより、本件出資による当社の JAIC-DD 社に対する議決権所有割合への影響を生じさせることなく、当社の投資に係る経済的な保全を図ることができると判断いたしました。

本出資により、当社は本 DC 事業の事業設計・運用戦略の包括的支援に加えて資本面からも関与を深め、当社の AI データセンター事業における事業基盤の強化及び中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

2. 出資の概要

引受け価額	金 1 億円
引受ける株式の種類及び数	A 種優先株式 10,000 株 (JAIC-DD 社発行済み A 種優先株式 60,000 株のうち)
1 株当たり払込金額	10,000 円
出資方法	金銭出資
議決権	本 A 種優先株式は同社株主総会における議決権を有しません (A 種優先株主のみで構成する種類株主総会においては 1 株につき 1 個の議決権を有します)。また、残余財産の分配については、普通株主に先立ち A 種優先株式 1 株当たりの払込金額相当額の 1 倍に相当する額の分配を受ける権利を有します (当該金額を超える残余財産の分配は受けません)。本件出資による当社の同社に対する議決権所有割合への影響はありません。
資金使途	分散型 AI データセンター東北リージョン福島双葉町 DC 開発事業に係る設備投資資金

3. JAIC-DD 社の概要

商号	JAIC データダイナミクス株式会社	
所在地	東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号 (2026 年中に福島県双葉町へ移転予定)	
代表者の役職・氏名	代表取締役 根来 実	
設立	2025 年 2 月 26 日	
資本金	10 百万円	
出資構成	日本アジア投資株式会社 50% デジタルダイナミック株式会社 50% (普通株式)	
事業内容	データセンターの運営 ①クラウドコンピューティングおよびストレージサービスの提供 ②ハウジング、コロケーションサービスの提供 ③サーバー管理・監視、クラウドサーバー管理代行サービスの提供	
当社との関係	資本関係	当社との間に資本関係はありませんが、同社の主要株主である日本アジア投資株式会社及びデジタルダイナミック株式会社の親会社であるダイナミックソリューショングループ株式会社が当社の株主かつ第 15 回新株予約権を保有しております。なお、当社は本件により同社が発行する A 種優先株式 10,000 株を保有することとなりますが、同株式は株主総会における議決権を有しないため、同社普通株主との資本関係に変動はありません。
	人的関係	当社取締役渡邊孝行氏が主要株主であるデジタルダイナミック株式会社の親会社であるデジタルソリューショングル

		ープ株式会社の代表取締役であります。また、当社社外取締役である天野晃氏が主要株主である日本アジア投資株式会社の社員であり、かつ同社の 100%子会社である Jaic オルタナティブインベストメンツ株式会社の代表取締役であります。
	取引関係	当社は同社の事業設計・運用戦略の包括的支援を行っております。

※当該会社の経営成績及び財政状態については、相手先の意向により非開示とさせていただきます。

4. 日程

取締役会決議日	2026 年 8 月 31 日
払込日	2026 年 8 月 31 日

5. 今後の見通し

本件による当社の 2027 年 3 月期の業績に与える影響については現在精査中であり、重要な影響が判明した場合には速やかにお知らせいたします。

以 上